

地球の未来？

射水市立大門中学校 三年 海老 愛美

現在、地球温暖化防止が世界共通の課題となっている。電気をこまめに消す。冷房温度を二十八度に設定する、二酸化炭素をなるべく排出しない、などといった、エコについての活動が重要視されている。一日にエコという言葉を目にしない日はない程である。

中でも、私が最も広めていきたい活動は、エコバックを使う、ということだ。昨年の夏私は母の誕生日に、橙色のエコバックをプレゼントした。母は笑いながら、

「恥ずかしくて使えないよ。」

と言っていたのだが、買いものをする時は、必ず使ってくれている。それがとても嬉しくて、プレゼントをしてよかったですと思う。

レジ袋有料化により、エコバックを持参する人が増加傾向にはあるのだが、それでもまだ、完璧ではない。

日本一高い山、富士山も、ゴミの不法投棄により世界遺産に登録されていない。今では「世界一汚い山」とまで言われてしまっている。ゴミの種類は様々だが、やはり缶、プラスチック、ビニールといった、比較的身近なゴミが大半を占めている。さらに驚くことに、車やタイヤ、テレビなどの電化製品も、山のあちこちに捨てられている。また、人間の排泄物により、強い異臭もするという。一体、山を何だと思っているのかと、強い怒りを感じる。これらが富士山が世界遺産に登録されない最大の原因である。そしてこれらの原因を引き起こした源が、紛れもない人間なのだ。

富士山のゴミ問題を例に挙げたが、日本、そして世界規模で解決していかねればならない問題が多く残っている。例えば、森林伐採。このまま木を切り続けていけば、動物たちは住みかを失い、やがて絶滅してしまうだろう。動物が減少

すれば、自然のバランスが崩れ、人間との共存も難しくなる。

今、地球が悲鳴をあげている。地球からのSOSに気づかず、平気で地球を汚してしまふ人間は、なんと愚かなものだろう。エコという言葉が一人歩きをする現代……。なるべく多くの人……。いや、世界六十八億人すべての人々が、エコについての興味・関心を持ち、実行していくことが大切である。一部の人々だけでは、解決できない問題なのだ。

人として地球に生を受けた以上、地球に感謝し、恩返しをする気持ちが大切ではないか。恩を仇で返さないために、エコ活動に真剣に取り組んでいかなければならないだろう。

最近テレビで、宇宙飛行士の若田光一さんのニュースが放送されている。「きぼう」から見た地球は、ゴミなど存在しないかのように、本当に青く、美しい惑星だった。宇宙から見えるすばらしい地球。本来の地球の美しさを、私たちは忘れてはいけないと思う。

「美しい地球」を合言葉に。